

# 熊本子ども囲碁便り

No.16 2013.4.15

発行：熊本子ども囲碁普及会  
託麻囲碁クラブ内 096-382-0174



新年度が始まり、入園、入学、進級等で心弾ませている子どもたちも多いことでしょう。熊本子ども囲碁普及会はNPO法人化に向けて順調に活動を進めています。

阿蘇では、以前より藤崎先生の指導により学校で囲碁が行われていますが、今月末には宇土中、高校において中学生80名を対象に囲碁教室が開催されることになりました。

中高6年間にわたり囲碁を学ぶことになり、近い将来、学校別の団体戦などで全国大会出場なども期待できそうです。

また、春から夏に向けて全国大会予選を含む試合が多く開催されますので、たくさんの参加をお願いいたします。



## 各教室から・・・

### 日本棋院玉名支部初心者教室

玉名市岩崎 154-1 Tel.0968-74-4968 担当 隈部敏

#### 十段戦タイトルマッチ 第2局・・・結城九段2目半で1対1に・・・

今や日本囲碁界のトップ棋士 井山裕太十段と関西棋院の実力者 結城聡九段の対決になった十段戦のタイトルマッチ第二局が、3月28日(木) 桜満開の玉名温泉司ロイヤルホテルで行われました。

井山裕太十段は、現在7大タイトルのうち6つのタイトルを獲得し、実力、人気ともナンバー1の棋士であり、かたや結城聡九段は、最近行われた大和証券杯やNHK杯で優勝しており、いま絶好調の二人の対戦に、会場はいやがうえにも盛り上がっていました。

タイトル戦は7階特別室で、大盤解説は2階で行われました。今、囲碁界で注目されている二人の対局なので、会場も約160名の参加者でイスも足りなくなりました。午後2時頃は、まだ局面もあまり進んでいないので盛り上がりにかけていましたが、時間がたつにつれて、解説者 武宮陽光五段・聞き手 井澤秋乃四段の解説も盛り上がってきました。

解説では、黒番井山十段が有利(盤面10目の差)に進んでいましたが、途中 突然インターネットで放映中の画面が真っ黒になりました・・・アレー・・・とっていると、今までの棋譜がどんどん変わっていききました。なんと、入力ミスということで、今までの棋譜が訂正されました。

正しい棋譜が変わると、白番結城挑戦者が優勢ということが分かり、結局 2目半で結城挑戦者の勝ちになりました。解説では、はじめ井山十段が優勢と放送されていたので、井山ファンは喜んでいましたが、訂正されると、結城挑戦者の優勢が分かり、満席の会場がざわめいていました。

時計の針は午後七時を過ぎたのに、帰る人は殆んどありませんでした。武宮・井澤両氏の解説にも熱が入り、観戦者も終局までじっと画面を見つめていました。

また、途中「次の一手」クイズがあり正解者が40名もありました。

大変充実した大盤解説に、参加者も満足げに会場をあとにしました。

※関連行事について

3月27日(水)・・・プロ棋士による指導碁 子ども21名・大人18名

3月28日(木)・・・プロ棋士による指導碁 子ども4名・大人20名

3月27日(水)前夜祭・・・子ども20名・大人108名参加

子どもたちは、井山・結城両氏との写真撮影ができて、よき思い出の前夜祭になりました。

花束贈呈をする二人の名前が、井上雄太君(中1)と井澤朝香さん(小5)と紹介されると、井山裕太十段と井澤秋乃四段(聞き手)の名前に似ていたので会場が沸きました。雄太君も朝香さんもきっと“もっと囲碁に頑張ろう”という気持ちになったのではないのでしょうか。(記 隈部)

お礼のご挨拶

このたび縁あって、去る3月27・28日の両日、プロ棋士による囲碁タイトルの一つ十段戦を玉名で開催することができました。今をときめく井山裕太十段の人気もあって予想を上回る多くの皆さんに参加を頂きました。

また、子ども囲碁教室の先生方、子どもや保護者の皆さま方に、多方面にわたりご協力、ご支援を賜りなんとか無事に終えることができましたことをありがたく感謝の気持ちでいっばいです。

特に、子どもさんたちは、めったにお目にかかれないプロ棋士の先生方と間近に接し、指導碁、解説会、さらには前夜祭等で親睦、交流ができたことは祈念すべき思い出の宝箱になったのではと喜ばしいかぎりです。

日ごろより次代を担う子どもたちの育成に携わる指導者の先生方の情熱には頭が下がる思いです。

これからも、囲碁文化の普及発展 さらには地域の活性化のためにもエネルギーを燃やせればと思います。ありがとうございました。

平成25年4月吉日 日本棋院玉名支部長 有働博一

熊本母と子の囲碁教室

(熊本市東区下江津 3-4-7 TEL096-370-2263 江藤 由久子)

「十段戦前夜祭に参加して」

出水中1年 前島彩乃

私は、3月27日の指導碁、前夜祭そして3月28日の十段戦大盤解説に参加しました。

その中でも私が興味深かったのは、大盤解説でした。想像外の手を打つので何でだろうと疑問に思うことがあり

ました。

プロの方がここに打ったらこういうパターンがあつてと色々なパターンを解説しているのを聞いて、やっぱりプロはすごいなと思いました。

5時間くらいの解説がありましたが、あきることなく最後まで聞けました。次にまた、熊本で対局がある時は、プロの人が打つ手を納得できるようになりたいのでたくさん練習してもっと囲碁が強くなりたいです。

## 佐土原子ども囲碁教室

(熊本市東区佐土原 1 丁目 10-1 TEL・FAX 096-367-1707 渡辺利男)



庭の木陰での対局は「気持ちいい〜」

奥には「秘密基地」も作ってあります。

恒例のお花見、バーベキューで腹一杯になりました（花はあまり見ていない）

3月末には、教室の桜の大木の下で恒例のお花見をしました。

花吹雪がコップに入る風情の中で、生徒同士、親同士の交流も深まりました。

この頃は、天気の良いと庭の木陰に作ったテーブルに碁盤を持ち出して対局しています。青空の下が伸び伸びした碁が打てている様です。

4月になり、小学校や中学校に入学した人など、生徒みんながそれぞれ進級して何となく気持ちが新たになったような気がします。

そこで、生徒一人ひとりに新年度の囲碁の目標を直筆で書いてもらい、教室の壁に貼りだしています。「詰め碁を勉強して初段になる」「週2回は教室に来て10級になる」「囲碁の宿題は必ずやる」等々、自分の目標を立てています。

目標達成のためには、コツコツと努力を積み重ねる以外にありませんが、一人ひとりの生徒の進歩に合った助言をしていきたいと思っています。



## 熊本チビッコ碁友会 (託麻囲碁クラブ)

(熊本市東区保田窪5丁目9-23 Tel096-382-0174 西山育子・田中信夫)

3月24日(日)に開催された「県民囲碁まつり」に託麻囲碁クラブから5チーム(子ども2組・大人3組)が出場しました。1チーム3人の団体戦ですが、なんと!託麻Dチームが総合優勝しました。個人大会とはまた違う楽しさを味わうことができましたようです。優勝チームのメンバーそれぞれに感想を書いてもらいました。

### 主将：高橋慶多(菊陽中部小4年)

だんたいせんに出ました。三回対戦をしました。せいせきは全部勝ったからよかったです。そう合ゆうしょうも出来てうれしかったです。さいごの相手は強かったから、いっしょうけんめいがんばりました。

### 副将：宮川天地(帯山小6年)

ぼくは、このまえの県民囲碁まつりの団体戦に出ました。前日は、団体戦で強そうなチームだという楽しみと去年勝てなかったときの思い出で、ものすごくドキドキしていたのですが、大会当日にゆうと君とけいた君にリラックスさせてもらったので、試合中まーったくきんちょうせず打つことができました。自分が勝ったらやっぱり他の人が気になります。でも、声を出すのをがまんして、心の中でガンバレとエールをおくっておうえんしました。

そしたら、なんとゆう勝してしまいました。そして三人でいっぱい楽しい思い出をつくりました。

今回の大会で、ぼくたちは強いきずなと友情を手に入れたと思います。これも全て囲碁を始めたおかげです。これからも囲碁友達をつくっていきたいです。

### 三将：水谷勇斗(西原小5年)

西山先生に、「団体戦にでてみない?」と言われて、いつも打っている友達とチームを組んで試合に出ることが楽しそうだなと思ったので、ぼくは参加してみることにしました。

当日、会場に行ってみると、たくさんの大人の人がいたので、いろいろな大人の人と打つんだと思うと、ドキドキしました。3回試合があって、最初は負けたけど、あとの2回は勝ちました。ほかの2人が全部勝ってくれたので、チームとして全勝することができました。結果、ゆう勝でした。勝っても負けても、相手の大人の人から、「ここがよかったね。」とか「こうした方がよかったんじゃないかな。」とかアドバイスをもらえたこともよかったです。

大人がゆう勝すると思っていたのかわからないけど、子どもがゆう勝して賞品のワインをもらったことがおもしろかったです。おかげで、お母さんがとてもよろこびました。また、チームで戦ってみたいです。

## RKKカルチャーセンター子ども囲碁講座

(熊本市東区長嶺南3-9-1 RKKカルチャーセンター Tel096-383-3900 囲碁講師 藤森常生)

### 「親子の囲碁交流教室」を開催しました

RKKカルチャーセンター祭の一環として、3月17日(日)に親子の囲碁交流教室を開催しました。併せて、同センターの子ども囲碁教室の卒業生も招待し、現受講生との交流も行いました。親子の交流は、親の参

加が少なく、おじいちゃん、おばあちゃんと孫との交流に代わりました。

- 1人のおじいちゃんは、孫〈小学1年生〉に囲碁を覚えてもらうことに一生懸命でした。結局、終わってから、孫を4月からこの「子ども囲碁教室」に入れて、さらに自分も孫と碁を打つために「大人の囲碁教室」に入室されました。写真のとおり、二人は本当に睦まじくしかも真剣に碁を打っておられました。嬉しい限りです。
- 当教室（前社会保険センター）の卒業生も5人参加頂きました。3人は大学生、2人は高校生です。皆、現在は時々碁を打つ程度ということですが、久しぶりに真剣に楽しく打っておられました。小学生時代のわんぱくな姿を思い出すとともに、彼らは、これからも囲碁を生涯の趣味として精進し、立派な社会人になることは間違いないと確信しました。
- おばあちゃんも3~4人参加されました。皆さんは、この日は囲碁は打っておられませんでした。一人の方は立派な有段者の方（当講座の受講生）で、日頃遠方におられる孫さんの碁を打つ姿を静かに見守っておられました。私もとても感動しました。



写真左上  
おじいちゃんと孫

写真右上  
おばあちゃんと孫

写真左  
子ども教室卒業生

## 囲碁教室『阿蘇一碁一会』・ヒカルの碁スクール『阿蘇』

(阿蘇市一の宮町宮地 6273 番地 6

050-3481-7045

代表 藤崎幸次郎)



阿蘇は四月と言うのに、阿蘇山には雪が積もるし、朝晩は手足まで寒いです。皆さん、お元気ですか？  
今年は、黄砂とか、PM2.5とかイヤになりますね。でもそんな事に負けずに、囲碁も学校の勉強も楽しくチャレンジしましょう！何事もチャレンジし、失敗を繰り返しながら上達していくものだと思います。私も、囲碁を覚えて3年目から大阪府大会に挑戦し続けました。始めは、何十目も負けて悔しい思いをしたものです。1000回負けて反省すれば、きっと初段になれます！たくさん負ける人は、その碁を反省して数を記録しておきましょう。1000回と言わず、初段になっているはずです(^)v

今回は、阿蘇での昨年度囲碁普及状況をお知らせしたいと思います。囲碁教室22回、延べ502名の子供達に囲碁を紹介することができました。しかし、どの学校も1~3回で、講義時間も1時間~1時間半位が多く、囲碁の面白さを十分紹介出来ませんでした。それで、今年度はせめて月に1度くらいは行かせてもらえたらと思っています。その依頼がすでに頂いていて、一番近くの坂梨小学校の放課後子供クラブコーディネーターの先生から、年間10回の教室を予定に入れて下さいました。来年は、その子達が阿蘇から大会に出て皆さんと対局してもらえると、今から楽しみです(^)♪

囲碁通信教室も、昨年暮れから今年にかけて熊本から5名のお友達が参加してくれて、名古屋1名、大阪1名、大分6名と13名で賑やかにやっています。教室に行きたくても、近くになかったり送り迎えをしてもらえないという方は、是非一度遊びにいらして下さい。

大分は昨年の少年少女代表の内3名が参加してもらってます。今年は、小中共うちの5名(小学2名中学3名)で争うと思います。

## 一新こども囲碁教室

(熊本市中央区新町 3-4-22

Tel・Fax 096-352-7639 代表 毛利秀士)

### 一学期の囲碁教室ご案内！！

当教室は西部方面に位置する貴重な教室のひとつです！本年度も会員一同張り切っていますので、たくさんのおもたちの参加をお待ちします。

## ● 土曜日教室

5月より3ヶ月間 毎週土曜日 PM1:30~3:30

於： 段山八幡宮社務所 熊本市中央区島崎1丁目11-7 段山踏切近く

## ● 日曜日教室

4月から3ヶ月間 第2、第4日曜日 PM1:30~3:30

於：熊本市子ども文化会館 熊本市中央区新町1-3-11

## 人吉球磨支部子ども囲碁教室

(人吉市西間上町2569-2 みのだ内科循環器科内 0966-28-3111 支部長 蓑田耕太郎)

本年度は、支部役員、会員で人吉市内だけでなく近郊の幼稚園・小学校を訪問し囲碁普及に力をいれたいと張り切っています。8月11日には昨年に引き続き「南九州子ども囲碁交流大会」を計画しています。

人吉は温泉を始め、夏休みのひとときを家族で楽しく過ごせるところがたくさんあります。ご家族揃ってのご参加をお待ちします。 子ども教室は下記の通りです。

## ● 毎週土曜日 午後1時半から3時

於：東西コミュニティセンター 人吉市城本町1088 TEL 0966-28-3230

日本棋院人吉球磨支部の会員がやさしく、親切に指導致します。

保護者の参加も大歓迎です！

## 『**囲碁雑談**』

後藤 渉 (熊本市帯山在住)

「東風吹かば匂いおこせよ梅の花 主なしとて春な忘れそ」3月のよく晴れた日、大宰府天満宮の梅の香に誘われるようにして、九州国立博物館の「ボストン美術館 日本の至宝展」に足を運んだ。明治時代に廃仏毀釈により危うく失われかけた日本の国宝級の美術品の数々が親日派であったフェノロサやビグローなどの尽力によりボストン美術館に収納され今日に至っている。日本の美術収蔵品はなんと10万点を超え、今回はその中から46点が厳選され里帰りした訳でどの作品も本当に素晴らしく感動の一言であった。

その中でも、特に私の心を捉えたのが遣唐使 吉備真備の活躍をユーモラスに生き活きと描いた「吉備大臣入唐絵巻」であった。物語の背景は奈良時代、真備が唐で客死した阿倍仲麻呂の霊(幽鬼)の助けを借りて、唐人から出される難題に立ち向かい見事に勝利するというフィクションで、中でも最大の難題であったであろう、唐の碁の名人との試合の絵図に足が釘付けになった。碁を知らなかった真備は幽鬼から手ほどきを受け、天井を碁盤に見立てて策を練り、対局に臨み辛勝した(第4巻第6段「名人との囲碁勝負」)。

一説によれば真備が囲碁を日本に広めたという言い伝えもあり、生国の地である岡山県倉敷市真備町で囲碁の全国大会「くらしき吉備真備杯こども棋聖戦」が毎年開催されている。ただ、真実には真備が生まれる前の隋書・倭国伝(636年)に「日本は囲碁・双六(すごろく)・博打(ばくち)の戯を好む」との記述などがあり、それ以前の古くから伝わっていたというのが一般的事実のようである。



また、唐から帰国途上、しげに遭い港沖の小島に漂流したと伝えられる鳥取市賀露町北の賀露神社には真備の囲碁を打っている絵が飾られていて「吉備真備奉納囲碁大会」が開催されている。このように時代を超え、人々を魅了し続けて止まない真備と貴族や武士、庶民に愛されてきた囲碁のイメージとが重なって見え、真備と囲碁はやはり切っても切れない深い縁なのだと思います。時間にも空腹感も忘れて見入った次第で、いつの日か必ずボストン美術館に行きたいとの思いを抱きつつ、精神的充足感を覚えながら帰路についた。

○ 尾ノ上コミュニティセンターこども教室

(熊本市東区錦ヶ丘 8-20 Tel096-340-8731 指導者 田中信夫)

○ 玉名立願寺楽碁長屋子こども教室 (玉名市立願寺 1362-2 0968-73-9008 松本博 )

大会のお知らせ

いずれもお問い合わせ申込は各教室まで

☆第6回子ども囲碁交流大会 4月21日 於：東部市民交流センター **9:40開始** 500円(弁当付き)

☆第62回祐徳本因坊県予選ジュニア部門 4月21日 於：日本棋院熊本県本部 10:00開始  
小・中学部門各一名を選出 1,000円(昼食各自)

☆2013TOTOカップジュニア囲碁国際大会

4月28日(日) 11:30受付 12:00開始 於：日本棋院熊本県本部参加費 1000円(弁当なし)  
無差別クラスからDクラス(20級まで)の5クラスパート別ハンディ戦  
※各クラス代表2名は8月5日北九州市小倉にて本戦があります。

☆第34回 少年少女囲碁熊本県大会

5月12日(日) 9:00受付 10:00開始 於：熊本日日新聞社(世安)  
参加費 1000円(弁当つき)  
小学、中学の部に分けて県代表選抜大会と段級認定大会が行われます。  
県代表それぞれ二人は夏休みに東京で全国大会があります。

編集後記 丁度、このお便りの編集が終わった日に田中一成君(真和高3)が朝日アマの県代表になったとの吉報が届きました。

若者が次々と全国に出て行ってくれる予感がする新年度の始まりです。皆さまの囲碁に対するおもいを事務局までお届下さい。

どうぞ何かの折に囲碁を話題にさせていただきますように・・・

(記 西山)